

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分
 【発行日】平成28年10月27日 (2016.10.27)

【公開番号】特開2016-166020(P2016-166020A)
 【公開日】平成28年9月15日 (2016.9.15)
 【年通号数】公開・登録公報2016-055
 【出願番号】特願2016-125948(P2016-125948)
 【国際特許分類】

B 6 0 N 2/20 (2006.01)

B 6 0 N 2/06 (2006.01)

【 F I 】

B 6 0 N 2/20

B 6 0 N 2/06

【手続補正書】

【提出日】平成28年7月28日 (2016.7.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

シートバックフレームを備える車両用シートのシートフレームであって、
前記車両用シートの幅方向における前記シートバックフレームの両端部に配置されたサ
イドフレームと、
前記サイドフレームの下端部同士を連結する下部メンバフレームと、を有し、
前記幅方向における前記下部メンバフレームの端部には、該端部の先端に達するように
形成された穴が設けられていることを特徴とする車両用シートのシートフレーム。

【請求項 2】

前記サイドフレームは、前記幅方向の外側に位置する側壁と、該側壁の後端から前記幅
方向の内側に延出した後壁とを有し、
前記側壁と前記後壁との境界部分は、前記サイドフレームの角部をなし、
前記幅方向における前記下部メンバフレームの前記端部は、前記下部メンバフレームの
角部をなし、前記サイドフレームの角部に重ねられていることを特徴とする請求項 1 に記
載の車両用シートのシートフレーム。

【請求項 3】

前記車両用シートのシートクッションに対して前記車両用シートのシートバックが揺動
する際の軸を備えており、
前記軸は、前記サイドフレームを貫通した状態で前記サイドフレームに取り付けられ、
前記穴には前記軸が通過し、前記穴のサイズが前記軸の外縁のサイズより大きいことを
特徴とする請求項 1 に記載の車両用シートのシートフレーム。

【請求項 4】

前記幅方向における前記下部メンバフレームの両端部の各々に前記穴が設けられており
、
前記下部メンバフレームのうち、前記幅方向において 2 つの前記穴の中間に位置する部
分に補強部が設けられていることを特徴とする請求項 1 に記載の車両用シートのシートフ
レーム。

【請求項 5】

前記補強部は、前記幅方向に沿って延出していることを特徴とする請求項 4 に記載の車両用シートのシートフレーム。

【請求項 6】

前記下部メンバフレームは、貫通穴を備えており、

該貫通穴は、前記幅方向における前記補強部の端と並ぶ位置に形成されていることを特徴とする請求項 5 に記載の車両用シートのシートフレーム。

【請求項 7】

前記下部メンバフレームの外縁部には、前記幅方向と交差する方向に折れ曲がった折れ曲がり部が形成されており、

該折れ曲がり部は、前記幅方向において前記穴よりも内側に位置していることを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか一項に記載の車両用シートのシートフレーム。

【請求項 8】

前記穴が設けられた前記下部メンバフレームの前記端部は、該端部の外縁部が折れ曲がることで形成された端部折れ曲がり部を備えていることを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか一項に記載の車両用シートのシートフレーム。

【請求項 9】

前記サイドフレームには、前記下部メンバフレームが取り付けられているメンバフレーム取り付け部が形成されており、

前記穴は、前記幅方向において前記メンバフレーム取り付け部よりも外側に位置していることを特徴とする請求項 1 乃至 8 のいずれか一項に記載の車両用シートのシートフレーム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

前記課題は、本発明の車両用シートのシートフレームによれば、シートバックフレームを備える車両用シートのシートフレームであって、前記車両用シートの幅方向における前記シートバックフレームの両端部に配置されたサイドフレームと、前記サイドフレームの下端部同士を連結する下部メンバフレームと、を有し、前記幅方向における前記下部メンバフレームの端部には、該端部の先端に達するように形成された穴が設けられていることにより解決される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

また、上記の車両用シートのシートフレームにおいて、前記サイドフレームは、前記幅方向の外側に位置する側壁と、該側壁の後端から前記幅方向の内側に延出した後壁とを有し、前記側壁と前記後壁との境界部分は、前記サイドフレームの角部をなし、前記幅方向における前記下部メンバフレームの前記端部は、前記下部メンバフレームの角部をなし、前記サイドフレームの角部に重ねられていると好適である。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0013
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0013】

また、上記の車両用シートのシートフレームにおいて、前記車両用シートのシートクッションに対して前記車両用シートのシートバックが揺動する際の軸を備えており、前記軸は、前記サイドフレームを貫通した状態で前記サイドフレームに取り付けられ、前記穴には前記軸が通過し、前記穴のサイズが前記軸の外縁のサイズより大きいと好適である。

【手続補正6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0014
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0014】

また、上記の車両用シートのシートフレームにおいて、前記幅方向における前記下部メンバフレームの両端部の各々に前記穴が設けられており、前記下部メンバフレームのうち、前記幅方向において2つの前記穴の中間に位置する部分に補強部が設けられていると好適である。

【手続補正7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0015
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0015】

また、上記の車両用シートのシートフレームにおいて、前記補強部は、前記幅方向に沿って延出していると好適である。

【手続補正8】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0016
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0016】

また、上記の車両用シートのシートフレームにおいて、前記下部メンバフレームは、貫通穴を備えており、該貫通穴は、前記幅方向における前記補強部の端と並ぶ位置に形成されていると好適である。

【手続補正9】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0017
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0017】

また、上記の車両用シートのシートフレームにおいて、前記下部メンバフレームの外縁部には、前記幅方向と交差する方向に折れ曲がった折れ曲がり部が形成されており、該折れ曲がり部は、前記幅方向において前記穴よりも内側に位置していると好適である。

【手続補正10】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0018
【補正方法】変更
【補正の内容】

【 0 0 1 8 】

また、上記の車両用シートのシートフレームにおいて、前記穴が設けられた前記下部メンバフレームの前記端部は、該端部の外縁部が折れ曲がることで形成された端部折れ曲がり部を備えていると好適である。

【 手 続 補 正 1 1 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 1 9

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 1 9 】

また、上記の車両用シートのシートフレームにおいて、前記サイドフレームには、前記下部メンバフレームが取り付けられているメンバフレーム取り付け部が形成されており、前記穴は、前記幅方向において前記メンバフレーム取り付け部よりも外側に位置していると好適である。

【 手 続 補 正 1 2 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 8 6

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 8 6 】

ところで、図 4 及び図 6 に示す通り、第 2 延出部 3 3 の上方部 3 6 及び下方部 3 7 には、それぞれ、幅方向内側に折れ曲がったフランジが形成されている。具体的に説明すると、第 2 延出部 3 3 の上方部 3 6 には、上端部が幅方向内側に折れ曲がった第 2 延出部上側フランジ 3 8 が形成されている。この第 2 延出部上側フランジ 3 8 は、端部折れ曲がり部に相当し、第 2 延出部 3 3 を補強するために上方部 3 6 の前端から後端に亘って形成されている。

【 手 続 補 正 1 3 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 8 9

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 8 9 】

一方、図 4 及び図 6 に示すように、第 2 延出部 3 3 の下方部 3 7 には、下端部が幅方向内側に折れ曲がった第 2 延出部下側フランジ 3 9 が形成されている。この第 2 延出部下側フランジ 3 9 は、端部折れ曲がり部に相当し、第 2 延出部 3 3 を補強するために下方部 3 7 の前端から後端に亘って形成されている。ここで、前述したように、下方部 3 7 は、貫通軸 3 b の後側から前側に回り込むように円弧状に延出しているため、第 2 延出部下側フランジ 3 9 も円弧状に延出している。

【 手 続 補 正 1 4 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 1 0 3

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 1 0 3 】

S 本シート

S 1 シートバック、S 2 シートクッション、S 3 ヘッドレスト

S 3 a ピラー

S 4 アームレスト

F 本フレーム

F 1 シートバックフレーム、F 2 シートクッションフレーム

f s ガイドステー
R スライドレール機構、R u アッパレール、R x 支持部
M 円形の領域
X 1 , X 2 溶接領域
H S 変形例に係るシート
1 側部フレーム
3 リクライニング機構
3 a リクライニング機構本体、3 b 貫通軸 (軸)
4 ハイト調整機構、5 操作レバー、6 回動リンク
7 a セクターギア、7 b ピニオンギア
9 アームレスト回動軸
1 1 サイドフレーム
1 2 側壁
1 2 a 外側面、1 2 b 内側面、1 2 c 穴、1 2 d ボルト穴
1 3 後壁、1 3 a メンバフレーム取り付け部
1 4 側壁側フランジ、1 5 後壁側フランジ
1 6 長穴
2 1 上部フレーム、2 2 折り曲げ加工部
2 3 上部メンバフレーム、2 3 a 開口
3 1 下部メンバフレーム
3 2 第 1 延出部、3 2 a 隆起部 (補強部)、3 2 b 穴 (貫通穴)
3 3 第 2 延出部、3 3 a ボルト穴
3 4 第 1 延出部上側フランジ、3 5 第 1 延出部下側フランジ (折れ曲がり部)
3 6 上方部、3 7 下方部
3 8 第 2 延出部上側フランジ (端部折れ曲がり部)
3 8 a 隣接部分、3 8 b 非隣接部分
3 9 第 2 延出部下側フランジ (端部折れ曲がり部)、4 0 連結部
4 1 追加延出部
5 0 アクチュエータ、5 1 ボルト